

「戦争と洛北」ビデオ上映会のご案内

防空監視員
鞍馬防空監視哨
昭和 20 年（1945）



戦争は悲惨なものです、どこかよその事と思っている人がいるかもしれません。しかし戦争は戦闘行為だけを意味してはいません。戦争に必要な兵器やものを生産することは、自分でそれを知らなくても、敵にすれば戦争協力行為であり、敵にねらわれることとなります。

京都、特に洛北は、第二次世界大戦末期、住民には知らされていませんでしたが、日本における戦闘機のエンジン生産の中心地になろうとしていました。そしてアメリカはそれを察知し、京都や洛北への攻撃を始めていました。

左京区の支援を受け、わたしたちは、洛北で戦争を経験した人に、機銃掃射、防空警報を受けての退避、松根油製造などに関する自らの経験について語ってもらったビデオを、このほど制作しました。左京区の学校などで教材として使ってもらうことを想定していますが、それに先立ち、戦争関連事業の中心地の一つであった岩倉において、ビデオを上映したいと思います。ぜひご覧になってください。

日時：2025年2月24日（月・祝）13時30分～14時30分（受付開始は13時から）

場所：岩倉地域交流センター（左京区岩倉中町403番地）

岩倉地域包括支援センターの2階

費用：無料

定員：60名 申し込み不要

主催：左京区の歴史教材作成委員会 小曾原 寛雄・加納 正博・榎木 稔・中村 治

問合せ：榎木 稔（携帯：090-5066-4835・メール：sawaragi-minoru@outlook.jp）

